

学校番号				
3	1	0	0	5

## 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 24 日

札幌市立 向陵中 学校

### 1 今年度の重点目標

- ◇「子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校 ～自らの力の伸長に安心感と意欲をもって取り組む姿を育む～
- 豊かな人間性の育成
  - 学ぶ力、学ぼうとする力の育成
  - 健やかな心身の育成
  - 子どもの発達への支援
  - 信頼される学校の創造

### 2 本年度の経営方針

- ◆子どもをよく理解し、子どもの立場に立つ
- ◆信頼関係の構築
- ◆学ぶ楽しさと成長の実感、学び合いにより深化
- ◆自己有用感を育む

### 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価		
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
令和7年度の包括的重点	さっぽろっ子「学び」のスキルの活用	分かる・できる・楽しい授業づくりの充実	A	子どもが分かる・できる・喜びを実感できるよう、個に応じた指導の充実を図るとともに、一人一人のよさや伸びを認める指導と評価の一層の充実を図る。	A	A	
	「小中一貫した教育」の推進（校種間連携）	9年間を通した子どもの学びのつながり	B	校区内パートナー校との連携を密にし、地域社会全体で学習や学校生活の系統性・連続性を意識した指導を行い、支援の一層の充実を図る。	A	A	
	ICTを活用した教育の推進（情報教育）	1人1台端末を活用した「学び力の育成」	A	教育活動全体を通じて、ICTを用いた調査活動や表現活動を一層充実させるとともに、支援が必要な生徒に対して、学校とのつながりを感じたり、学びを進めたりすることができるように活用方法や場面を工夫していく。	A	A	
学校関係者評価委員会による意見		進路へ向けた授業構成を再検討し、今後も適切な運用に努めていただきたい。また、具体的な改善方策について、目に見える形での成果を期待したい。					
調和のとれた体育のち	学ぶ力	課題探究的な学習	教師の授業力向上	A	1人1台端末を活用し、「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の一層の充実を図るとともに、家庭でも取り組める機会を充実させる。	A	A
	豊かな心	命を大切にする指導	生徒の変化を的確に把握する組織的な指導	A	各種アンケートや教育相談を積極的に活用し、全教職員が生徒理解に努めるとともに、生徒の自己肯定感や自己有用感を育む指導の一層の充実を図る。	A	A
	健やかな体	「健やかな体」育成プログラムの実施	体育に関する指導の充実と健康に関する指導の充実	A	保健体育科の授業を中心としながら、特別活動では養護教諭や栄養士による授業を計画的に位置付け、健康に関する指導の充実を一層図る。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		現在の取組を継続し、より良い学校づくりに努めていただきたい。					
札幌らしい特色ある学校教育の推進	未来の札幌を考える【環境】	「総合的な学習の時間」の充実	A	「総合的な学習の時間」で3年間、系統的にSDGsを土台とした学習に取り組み、札幌と世界のよりよい環境を創造しようとする心を育てていく。	A	A	
子どもの発達への支援	不登校支援	子ども一人一人の発達を支援、個々のニーズに応える指導の充実	A	新たな不登校を生まない学校づくりを進めるとともに、生徒の学業不振や登校不安に寄り添い、1人1台端末の有効な活用等、個別の支援に継続して取り組む。	A	A	
信頼される学校の創造	教員の資質・能力の向上	教職員間の協働的な学び合い	A	札幌研事業を活用した資質・能力の向上と、校内研修会の充実による教科等横断的な視点に基づく学びの深化を図るとともに、異校種間の連携を高める。	A	A	
教科等の枠組を越えた教育	人間尊重の教育	互いのよさや可能性を認め合える人間関係づくり	A	全ての教育活動を通じて生徒の「自己承認」を高めるとともに、「他者への承認」や「他者からの承認」へ導く学習活動づくりに取り組む。	A	A	
学校関係者評価委員会による意見		教職員の労働環境を一層整えていくことが、子どもたちの発達に大きく寄与することを念頭に取り組んでいただきたい。					
学校独自に設定する分野	「すべての人が幸せと充実感を感じられる、安全で安心して過ごせる学校」（安全・安心）	A	学校・家庭・地域との信頼関係を基に、常に子どもの立場に立って教育活動を進め、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに継続して取り組む。	A	A		
	いじめ防止に向けた組織的な取組	A	定例・臨時の校内いじめ防止対策委員会の開催における情報共有を行い、子どもに寄り添ったいじめに係る対処に迅速に今後も取り組む。	A	A		
学校関係者評価委員会による意見		子どもたちの能力を引き出すために、関わる大人（教職員、地域の方々）がゆとりをもった取組をしていくことでよりよい学習環境を整えていただきたい。					